

2025 年 11 月度のボーイスカウト福岡第 14 団の報告について

1 カブ隊

- 日時:11 月 16 日 (日) 唐泊漁港
- テーマ:釣りに必要なものをハイクでゲット
- 目的:自然に親しみ愛護する心を育てる

唐泊漁港で釣りを楽しみました。過去、カブ隊で釣りを行うとたいがいボウズで、がっかりな結果なのですが今年は大漁でした。前もって調べた潮は、昼間が干潮でしたので、集合時間を遅くして調整しました。

まずは、地図を使ってのハイクです。唐泊漁港は海と反対側は急な坂のある町ですが、階段を上った先には福岡の文化財指定のお寺や神社があり、万葉集の歌が刻まれた岩があったり、眼下に漁港を見下ろす位置に大歳神社、江戸時代に千石船をつないだ礎石にくじらも繋いだことで残っている「くじら石」など、見所満載の漁港です。スカウトたちはこれらの寺社を回り、釣りに必要な道具をそろえていきます。

大歳神社から発信される手旗をよんだり、万葉集の歌の文字をつかって問題をといたり、渡された地図と漁港に設置された地図をみてゴールの場所を特定するのですが、スカウト達は地図を見慣れていないので、反対方向に進んだり。時間内に戻ってくるのが難しいようでした。



昼食の後はロープゲームです。今日はフグの毒が入った水が発見されたので手を使わず処理しようというミッションです。ひきとけ結び、本結び、ふた結びを使い苦戦しましたが無事容器に移し替える事ができました。



ようやく潮が戻り始めたので、釣り開始です。外海は危ないので漁港に糸を垂らします。海水は澄んでいて魚の群れが見えるのに最初は釣れず、でもスカウトは日ごろの粘り強さを見せて後半は小あじやふぐなどが釣れました。カサゴを釣ったスカウトもいました。



2 ビーバー隊

- 日時：11月1日（土） 桜の記念植樹・施肥作業 於 福岡市美術館・舞鶴公園

ボーイスカウト福岡県連盟創立百周年事業を記念し、福岡県連盟と福岡北ロータリークラブ様が合同で実施された桜の植樹式に参加させていただきました。今回植樹された桜の木は「大村桜」の木、原木は国の天然記念物指定とのことです。美術館を訪れた際、また西九州新幹線を長崎方面に利用する際に大村市の名前を耳にした時に、今日の植樹のことを思い出してほしいと思います。

午後からは、他団のスカウトも大勢やって来て、舞鶴公園内の桜の並木に肥料を与える作業をしました。当日はテレビ局のカメラクルーもやって来て、ビーバースカウトも撮影されていました。日頃の訓練の成果もあったのか、作業自体は要領よくたいへんスムーズに行われました。一見単純な作業の中にも、スカウトたちは「スカウトらしい」楽しみ方を見出していたようでした。

特にビーバースカウトには長丁場の1日となりましたが、記憶に残る1日となったのではないかと思います。近くを訪れた際にはこの舞鶴公園の桜の並木道にも立ち寄って、スカウトとして県連百周年の時に立ち会えたことを楽しい記憶とともに思い出してほしいと指導者として願います。





○ 日時:11月24日(月・祝日) 10kmハイク 於 今津運動公園～福岡市海釣り公園

14団ビーバー隊秋の恒例行事の10kmハイクを今年も行いました。今日の集会は「隊長のもとに『ひみつの研究所 マリンステーション』から特別ミッションが届いた」というお話から始まり、スカウト達もマリンステーション所長からの手紙を興味津々に覗き込みます。隊長からは、今日の集会ではこの特別ミッションをクリアするためにフィールドビンゴに取り組むということが示されました。



道中は、この日のために用意されたフィールドビンゴを楽しみ、またお昼休憩の海釣り公園では「マリンステーションからのミッション第2弾」として、「研究所から逃げ出した魚を捕まえる」という想定で、魚のカード探しをしました。魚のカードにはビーバーさんの大好きな飴が入った袋が付いていて、飴の詰合せの袋を手にしたスカウトたちはとてもご満悦です。





10km という距離は大人の足でも 2 時間ほどかかる距離ではありますが、小学校低学年のリーダーさんも休憩を挟みながらしっかり完歩できました。また、数日前からの天気予報は小雨予報もあり、当日まで開催が不安視されていましたが、当日はとても過ごしやすい気候で、まさにハイキング日和でした。いつもより長い距離を忍耐強く自分の足でしっかり歩き切ったという自信が、今後の人生の基盤を支える礎となることを指導者として願ってやみません。



3 ボーイ隊

- 日時：11月1日（日） ボーイスカウト福岡県連盟100周年記念植樹、施肥 舞鶴公園
午前、100周年記念植樹に参加。午後、桜に施肥の活動をしました。

